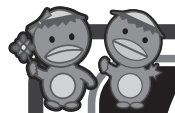




発行●新河岸川流域川づくり連絡会（荒川下流河川事務所 調査課内）  
住所●東京都北区志茂5-41-1 TEL03-3902-3220 FAX03-3902-2346  
発行日●平成25年（2013）7月11日

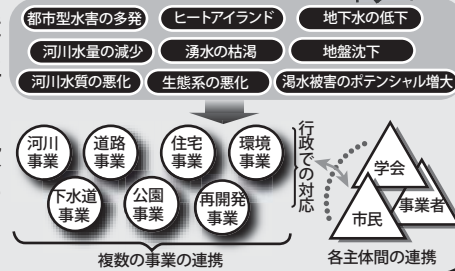


# 気になる水循環 (10) ~ 水循環 Q&A ~

水循環 Q&A では、水循環に関する身近な疑問について、関係機関の方に回答をいただきます。  
今回は、自由学園男子部高等科の生徒さんから寄せられた「水循環」に関する質問について、公益社団法人雨水貯留浸透技術協会の方に回答をいただきました。

**Q** 水循環再生をしようとするときに一番弊害となっていることは何ですか？

**A** 水循環再生に伴い発生する弊害はありませんが、この弊害を障害という意味と解釈するならば、長い年月の間に乱された都市の水循環再生には、農地保全、緑化、雨水貯留浸透施設の設置、河川・下水道の整備等、その対策に非常に時間がかかることです。



# 流域の川をたずねて (12) 市民の願い<空堀川に水量確保>

東久留米市の落合川・黒目川を散策していると、水の清らかさ・冷たさ、水草と河畔林の豊かさは、瀬切れを起こす空堀川を眺めて暮らす住人には大変羨ましく、理想とする河川景観だと感じます。都市化による汚濁と悪臭漂う河川が、下水道完備により浄化された今、水さえあれば河川に関わる豊かな生態系と自然の連鎖による魅力を訪れる誰もが享受できます。「水の流れる川」それを現実のものにするために、流域の自然保護団体、四市流域連絡会、市行政共々に、可能であろう様々な提案や話し合いを行ってきました。空堀川は、洪水対策のため昭和40年代後半から拡幅工事が始まり、現在も続いています。源流は、武蔵村山市にある野山北公園付近の谷戸で、元々湧水の少ないこと、益々掘り下げて浸透しやすい地層であることは承知の上ですが、それでも河川管理者と共に、流水を得るための知恵と技術力と財力、そして流域の熱意をもって、空堀川に水量確保を！ 実現の日まで求めて行きたい。



(川づくり・清瀬の会より寄稿)

## 事務局だより

### 第1回連絡会が開催されました

6月4日(火)に第1回新河岸川流域川づくり連絡会が開催されました。第1回連絡会では、今年度開催を予定している第9回川でつながる発表会の開催時期や開催地について協議されました。また、連絡会後半の勉強会では、法政大学水文地理学研究室の小寺教授から「身近な陸水の水質調査・研究法と新河岸川流域の水質特性」と題して、シュティフダイヤグラムや水質一斉調査について講演を頂きました。



第1回連絡会のようす

### 川づくり連絡会に参加してみませんか？

新河岸川流域川づくり連絡会は、原則第2火曜日または第2金曜日で年4回程度開催します。参加希望の方は、下記連絡先までお問い合わせください。(開催場所はお問い合わせ時にお知らせします。)

### しんぶん「里川」掲載情報を大募集します！

各流域や地域での活動報告やイベント情報を募集しています。身近な情報などをお手紙またはFAX・メールにて下記連絡先までお寄せ下さい。

#### ■ 連絡先

新河岸川流域川づくり連絡会 事務局  
(国土交通省関東地方整備局 荒川下流河川事務所 調査課内)  
〒115-0042 東京都北区志茂5-41-1  
TEL 03-3902-3220 FAX 03-3902-2346  
URL <http://www.ktr.mlit.go.jp/arage/>



切り絵 毛利将範

## 目次

- P2~3 平成25年度年間活動予定
- P4 連載：気になる水循環(10)、流域の川をたずねて(12)、事務局だより
- P5 特集：川まつり連動企画 知っている人は取り組んでいる！

れんじつきび あつ つづ かわ みず つめ こい  
連日厳しい暑さが続き、川の水の冷たさが恋しくなる季節となりました。ひと夏の思い出づくりに家族そろって、地元の川まつりに参加してみたいかかでしょうか。  
こんごう へいせい ねん がつ  
今号では、平成25年7月から8月にかけて実施される川まつりの開催案内を紹介します。  
れんさい じゅうがくえん せいと みずじゅんかん かん  
連載では、自由学園の生徒さんの水循環に関する質問とその回答について掲載しています。特集では、川まつり連動企画として、川まつりの楽しみ方や川まつりに参加することによって得られる知識を紹介します。

# 新河岸川流域 平成25年度 年間活動予定

平成25年7月～平成26年3月

平成25年度は、国、都県、区市町、市民等に加え学識経験者が連携した流域一体となった「いい川づくり」の実現に向けて、「新河岸川流域に関連した情報共有・意見交換」の場として新河岸川流域川づくり連絡会や川でつながる発表会の開催や、「流域住民や行政の「いい川づくり」への理解・意識向上に資する情報提供」として流域しんぶん「里川」の発行、「新河岸川流域内で展開される「いい川づくり」に向けた取組みとの連携」として流域内の各地で開催される川まつり【下記参照】などでのパネル展示を実施していく予定です。

川づくり連絡会の年間活動予定	
平成 25 年	平成 26 年
7月上旬	流域しんぶん「里川」71号発行
8月下旬	第2回新河岸川流域川づくり連絡会
9月上旬	流域しんぶん「里川」72号発行
11月下旬	第3回新河岸川流域川づくり連絡会
	2月
	第4回新河岸川流域川づくり連絡会
	流域しんぶん「里川」73号発行
	第9回川でつながる発表会
	※第9回川でつながる発表会は 11月～2月で検討中

## 開催日程... 新河岸川流域 川まつり

**1 落合川** (おちあいがわ) 20周年記念「第20回 わくわく川清掃&川あそび」 / 日時：<前夜祭>7月13日(土)16:00-21:00 / <川掃除&あそび>7月14日(日)10:00-16:00 / 場所：落合川沿い 不動橋広場(東久留米市浅間町1丁目地先)

●内 容：<前夜祭>模擬店、たいこ演奏、ミニコンサート、「大槌町の今」スライド上映、映画<川掃除&あそび> 午前：河川清掃(落合川・黒目川) 「大槌町の今」パネル展示 昼：たいこ演奏、来賓等あいさつ、豚汁無料提供、東北の食試食、消防の放水 午後：川あそび(水ガキ講座、タイヤボートのり、竹の一本橋渡りなど)

●主 催：わくわく川掃除&川あそび実行委員会

●問合せ先：042-472-0882 または 090-2642-9442 (菅谷輝美)



**2 東川** (あずまがわ) (所沢) 「東川・川まつり(身近な川しらべ)」 / 日時：7月20日(土)9:00-12:00 / 場所：川端橋(所沢市立東中学校前)(小雨決行)

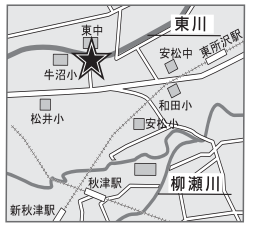
●内 容：さかな調べ、川の水調べ、水生生物調べ、川遊び(カヌー・ゴムボートほり)など

●持 ち 物：(暑いので)帽子、水筒、ぬれてもいい格好(サンダル、ゴムぞうりは流されるのでダメ)

●駐 車 場：東中学校

●主 催：東川を愛する会

●問合せ先：04-2944-7469 (手島)



**3 不老川** (ふろうがわ) 「第14回 鳥になろう 魚になろう 『大森の池まつり』」 / 日時：7月21日(日)10:00-15:00 / 場所：入間市宮寺 大森調節池

●内 容：カヌー乗り、魚・ザリガニとり、トンボ・バッタとり、水鉄砲づくり、ジャンボしゃぼん玉、出店(地場野菜・パン・ジュース・焼きそばなど)

●持 ち 物：水に入れる服装、レジャーシートなど ※水の中は、はだしでは入れません。古くなった運動靴などが良いようです。

●参 加 費：100円

●主 催：大森の池まつり実行委員会

●問合せ先：090-8043-1757 (本多)



**4 柳瀬川** (やなせがわ) (清瀬) 「2013 きよせの環境・川まつり」 / 日時：7月27日(土)10:00-15:00 川遊び受付9:00～ / 場所：清瀬市台田運動広場(清瀬市下宿1-1)、川遊び(柳瀬川河川区域)

●内 容：<川の中で>魚とり、ポート遊び、いかだコンテスト <河畔で>「おもちゃのとりかえっこ市」(使えるおもちゃが対象) 小型家電の収集

●持 ち 物：運動靴(サンダル不可)

●申 込：いかだコンテストは事前申込が必要

●主 催：きよせ川まつり実行委員会

●申・問合せ：042-492-5111 (清瀬市水と緑の環境課)



**5 柳瀬川** (やなせがわ) (志木) 「こどもとおとなの自然塾 『川の生き物を調べよう』」 / 日時：7月28日(日)9:00-11:30 / 場所：志木中学校前の柳瀬川土手・河川敷(志木市柏町3-2-2)(雨天中止)

●内 容：魚とり、水生生物調べ、川渡りなど

●持 ち 物：帽子、飲み物、川に入れる運動靴(長靴、サンダルはダメ) ※アミはお貸しします。

●参 加 費：200円 家族(会員・中学生以下は無料) 小学生はハガキに①児童氏名 ②学校名・学年 ③保護者氏名 ④住所 ⑤電話番号を記入の上、7月16日(火)までに(当日消印有効)、志木市立教育サポートセンター(〒353-0001 志木市上宗岡1-5-1/TEL048-471-2211)へお申込み下さい。

●主 催：NPO法人エコシティ志木、埼玉県生態系保護協会志木支部 後援：志木市立教育サポートセンター

●問合せ先：〒353-0001 志木市上宗岡1-5-1、048-471-2211 (志木市立教育サポートセンター)



**6 北川** (きたがわ) (東村山市) 「第18回北山わんぱく夏まつり」 / 日時：8月4日(日)10:00-16:00 / 場所：北山公園・北川(小雨決行・雨天中止)

●内 容：カヌー遊び、ザリガニ釣り、八国山ミニハイク、出店、北川ウォーク、北川水族館、コンサート、生物多様性セミナー など ※小学生以下は保護者同伴のこと

●主 催：第18回北山わんぱく夏まつり実行委員会

●問合せ先：042-395-7705 (渡辺)



**7 黒目川** (くろめがわ) (新座) 「第15回わいわい川遊び『アユの棲む黒目川をきれいに川で遊ぼう』」 / 日時：8月11日(日)10:00-15:30 / 場所：栗原1丁目公園(小雨決行・雨天中止)

●内 容：水質調査、魚類調査、川掃除、水ガキ講座(魚とり教室)、舟あそび(ゴムボートなど)、スイカ割り

●主 催：黒目川流域川づくり懇談会

●問合せ先：042-456-8869 または 090-6497-5737 (高邑)



**8 黒目川** (くろめがわ) (朝霞) 「黒目川・川まつり おとなも子どもも ハンディのある人もない人も」 / 日時：8月25日(日)10:00-14:00 / 場所：新高橋下流左岸の河原(溝沼郵便局横)(小雨決行・雨天中止)

●内 容：水質調査、魚類調査、川掃除、水ガキ講座(魚とり教室)、舟あそび(ゴムボート、カヌー)、ザリガニ釣り、スイカ割り

●持 ち 物：川に入れる運動靴(サンダル、長ぐつはダメ)、帽子、昼食(焼きそばの販売もあります)

●主 催：黒目川川まつり実行委員会

●問合せ先：090-9311-7932 (藤井)



※流域内ではこの他にも、さまざまな活動が実施されています。

◆問合せ先◆  
**新河岸川流域川づくり連絡会 事務局**(国土交通省関東地方整備局 荒川下流河川事務所 調査課内)  
 住 所：〒115-0042 東京都北区志茂5-41-1  
 T E L：03-3902-3220 FAX：03-3902-2346  
 U R L：http://www.ktr.mlit.go.jp/arage/about/associated/associated05/

# 川まつり連動企画 知っている人は取り組んでいる！



## かっぱからの挑戦状！ 川まつりの楽しみ方を知っているか！？

夏が到来し、新河岸川流域のみなさまは地元で開催される川まつりやちょっと遠出した大きなまつりを楽しみにしているのではと思います。今年も新河岸川流域では各河川で川まつりが開催されます。

今号では、中面に記載している川まつりの開催案内との連動企画として、川まつりの楽しみ方や川まつりに参加することによって得られる知識をもとに“川まつりの魅力”に迫ります。

### 1 川で遊ぶ。

川まつりに行ったら、まずは川に入ってみよう。

この川の水はどこから来て、どこに行くのだろうか。

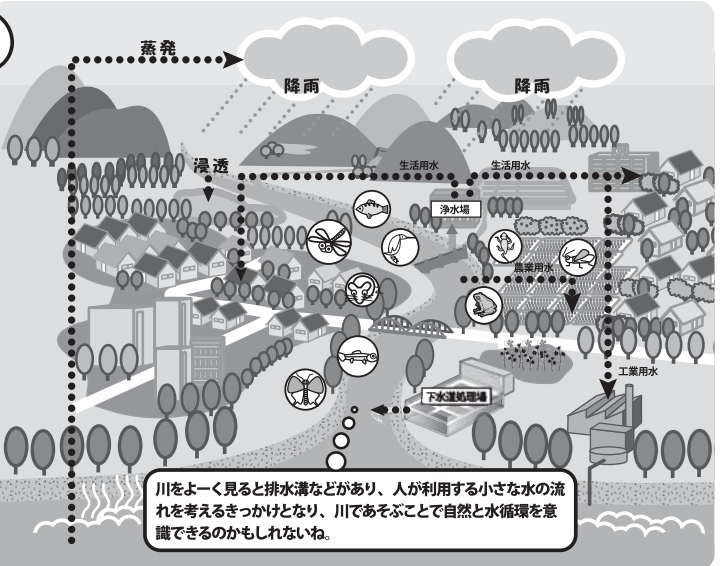
柳瀬川（清瀬）いかたコンテスト

乗物のイベントは直に水の流れることができるな。

川まつりっていろいろだから、やっぱり川にはらないとね。

新河岸川流域の川まつりでは川で遊ぶ多くのイベントがあるね。

落合川 タイヤボートのり



### 2 川の生物を知る。

次に、川にいる生物を知ろう。

新河岸川流域にはいろんな生物がいるね。

どんな環境だと生物が生息できるのかを身にしみて体験できるね。

魚とりなどが実施される川は人工的だろうか？ それとも自然に近い状態だろうか？

魚とりをしているとコンクリートで覆われていない自然の状態に近い川を感じることができるな。

川まつりを主催する市民団体の努力のおかげでかつて三面張りのコンクリートだった河川を改修している地域もあるんだよ。

東川（所沢）水生生物調べ

柳瀬川（志木）魚とり、水生生物調べ

### 3 川まつりにある意外なブースを知る。

最後に、川まつりに行ったらいろんなブースをまわってみよう。

せっかく、まつりに行くのだから、出来れば全部のブースに行かないとね。僕が行った川まつりでは、河川に係ることなら、なんでも答えてくれるブースがあったんだよ。

いろいろなブースをまわることは、思わぬ知識を吸収できるチャンスでもあるわけだね。

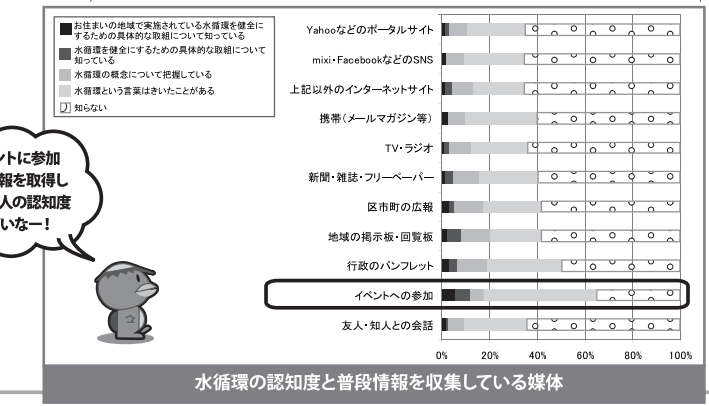
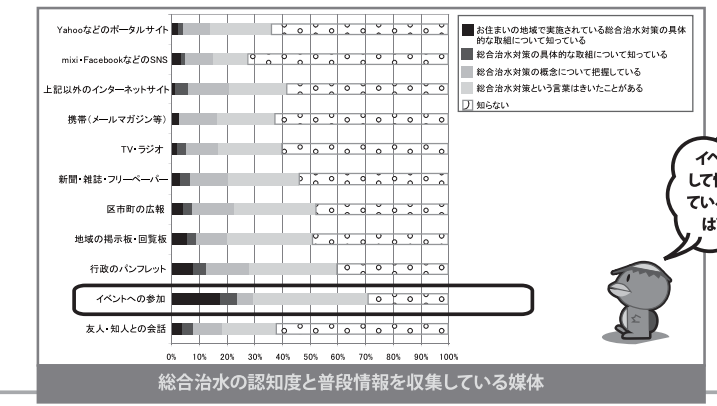
そうだね。思い立ったが吉日だ。早速、今年の川まつりに関する情報は里川71号の中面に記載

空堀川

## 川まつりの参加者は、総合治水、水循環の認知度が高い！？

新河岸川流域の住民を対象に総合治水・水循環の認知度に関するアンケート※1を実施しました。アンケート結果をみると総合治水や水循環の認知度が高い人はイベントに参加して情報を取得していることが明らかとなりました。”総合治水””水循環”という言葉を知ると難しいと感じるかもしれません。まずは、川まつりに参加して川と触れ合うことで、興味を持つことから始めてみてはいかがでしょうか。

※1 アンケートの仕様  
 対象者：20才以上（新河岸川流域内在住者）  
 （男女比・20代、30代、40代、50代、60代以上の回答者が均等になるように抽出）  
 対象地域：新河岸川流域  
 不老川流域、砂川堀流域、柳瀬川流域、黒目川流域、白子川流域の台地5ブロック（上流部）とそれぞれの支川の低地をまとめた1ブロック（下流部）合計6ブロックに分けて、アンケートを実施した。  
 実施手法：WEBアンケート  
 有効回答数：427（上流部：360 下流部：67）  
 実施期間：平成24年10月26日～11月5日



イベントに参加して情報を取得している人の認知度は高いな！